

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩尻四宿400年祭 (街道交流事業)
事業主体 (連絡先)	街道交流事業実行委員会 塩尻市大門八番町13-10
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,955,718円 (うち支援金: 2,577,663円)

事業内容

1 皇女和宮御下向行列

塩尻に縁のある皇女和宮が徳川将軍家へ輿入れの様子を再現した仮装行列を実施

- (1) 開催日: 10月18日(日)
- (2) 場所: 藪原宿(木祖村)→奈良井宿(塩尻市)
- (3) 行列参加者: 68人 ※応募総数104人
- (4) 来場者数: 約7,000人
- (5) その他:
 - ア 和宮道中お菓子の販売
和宮道中御菓子「深秋の姫道中」を約300個限定販売
 - イ 和宮御前の提供(有料)
「特製和宮御膳」を予約制により提供。
※場所: ころ音(奈良井宿) ※予約数10食
 - ウ 着地型旅行商品の企画
長野県観光協会と連携し、着地型旅行商品(行列参加型奈良井宿宿泊付)をツアーを企画。※実績数無し。



【和宮行列】



【記念菓子】

2 宿場の日事業(宿場祭)

各宿場の歴史をたどるパネル、各宿場に残る記念品、文献、民俗資料等の展示を(各宿場のガイド付き)を実施

- (1) 開催日: 10月18日(日)
- (2) 場所: 檜川公民館奈良井分館
- (3) 来場者数: 約2,000人
- (4) その他:
 - ア 木曾11宿のPRブースの設置(木曾観光連盟と連携)
 - イ 郷土料理の振る舞い(山賊汁。約600食分)



【和宮御膳】

3 街道ウォーキング事業

- (1) 善光寺街道ウォーキング
 - ア 開催日: 4月18日(土)
 - イ コース: 初級(約8km) 洗馬駅→洗馬宿→郷原宿→広丘駅
中級(約16km) 洗馬駅→洗馬宿→郷原宿→村井宿→出川宿→松本宿→松本駅
 - ウ 参加者数: 約100人



【宿場の日事業】

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- (2) 初期中山道ウォーキング
ア 開催日：10月4日(日)
イ コース：塩尻駅～日出塩駅～桜沢～小野駅
岡谷駅～小野駅
ウ 参加者数：約300人
- (3) 皇女和宮御下向行列と歩こう
ア 開催日：10月18日(日)
イ コース：藪原駅～鳥居峠～奈良井宿
ウ 参加者数：約1,100人



【街道ウォーキング】

- 4 展示事業
各宿場の歴史をたどるパネル、各宿場に残る記念品、文献、民俗資料等の展示

- (1) 木曾漆器祭・奈良井宿場祭での展示
ア 開催日：6月5日(金)～7日(日)
イ 場所：楢川公民館奈良井分館
ウ 来場者数：約1,000人



【展示事業】

- (2) 宿場の日事業における展示
2 宿場の日事業のとおり
- (3) 皇女和宮行列写真展
10月18日(日)に開催した皇女和宮行列時の写真の展示(63点)及び行列の様子をスクリーンで上映。

- ア 期間及び場所：12月18日(金)～1月7日(木)
塩尻市市民交流センター3F
2月5日(金)～18日(木)
木祖村笑ん館

- イ 来場者数：約7,000人



【展示事業】

- 5 地域文化に触れる総合学習
地域住民が講師となり、各学校へ出向き総合学習の一環として授業を行い、地域資源である宿場、街道等について学習・研究

- (1) 開催期間：5月から10月まで(延べ11回)
(2) 場所：各小、中学校及び塩尻宿、永福寺
(3) 講師：地域住民(実行委員会のメンバー含む)
(4) 参加校数：2校(塩尻市立塩尻東小学校、塩尻市立塩尻中学校)
(5) 学習発表会：学習の成果を市民に発表する機会を設定

- ア 開催日：平成28年2月21日(日)
イ 場所：塩尻市市民交流センター多目的ホール
ウ 来場者数：約100人

- 6 ワークショップの開催
地域資源の拾い出し等を行うワークショップを開催

- (1) 開催日：9月3日(木)、9月28日(月)
(2) 場所：塩尻市市民交流センター会議室
(3) 参加者数：延べ18人(宿場関係者中心)
(4) 成果物：観光協会が案内材料として活用



【ワークショップ】

7 中山道を通じた関連市町村との交流会（意見交換会）の開催

(1) 東信州中山道連絡協議会

ア 開催日：9月16日（水）

イ 場所：檜川公民館奈良井分館



【交流会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 多様な団体等が連携して事業実施や会議を重ねたことにより、今後も継続的に活動していく必要性を共有することができた。特に事業については、宿場関係者が一体となり積極的に実施できたことで、組織力の向上にも繋がった。
- 2 地域住民が来訪者との交流を図ることにより、地域への愛着と誇りを醸成するとともに、交流人口の増加→地域活性化に対する住民意識を高めることができた。また、実行委員会に地域の代表（区長、分館長）が加入していることもあり、地域住民が広く参加した（巻き込んだ）イベントを実施することができ、地域づくり実践者の増加にも繋がっている。（和宮行列等に関わった住民参加人数約150人）
- 3 小、中学校の学習会、学習発表会の機会を通じて、次世代を担う子どもたちに文化を継承することができた。
- 4 奈良井宿への来訪者数が年々減少している中、事業実施により奈良井地域の住民の更なる地域への愛着と観光地としてのおもてなしの心の醸成を図ることで、魅力ある奈良井宿を発信することができた。
- 5 「皇女和宮御下向行列」については、高い誘客効果があった。あわせて観光客の消費を促すことができた。
※奈良井宿への誘客促進は、地域の特性（奈良井地区、木曾平沢地区は漆器産業が盛ん）を活かした産業の振興と商業の活性化に繋がる。
- 6 ワークショップの開催により、周遊ルートの創出に繋げるための地域資源の拾い出しを行うことができた。
- 7 共通資源である中山道を有効活用するため、関係団体等と広域的な連携や事業等について検討・実施することで広域観光推進への第1歩となった。（次年度に繋げることができた）
- 8 各種事業の実施により交流人口の増加、地域の情報発信・知名度の向上に繋がった。※各事業計画申請時来場者見込数→実績

- (1) 皇女和宮行列：約7,000人→約7,000人（前比約15%増）
- (2) 宿場の日事業：約2,000人→約2,000人
- (3) 街道ウォーキング：約900人→約1,500人（前比約60%増）
- (4) 展示事業：約10,000人→約10,000人
- (5) 地域文化に触れる総合学習：参加校4校→2校

【目標・ねらい】

- ① 組織の確立
- ② 地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信
- ③ 住民の愛着と誇りを醸成
- ④ 地域の伝統・文化・歴史の継承
- ⑤ 交流人口の増加

※自己評価【A】

【理由】

- ・ほとんどの事業来訪者数等は、目標数を超えた
- ・住民を広く巻き込んだ事業が実施できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・実行委員会の活動を基に市内6宿場の連携がより一層密になり、組織全体の活動のほか、宿場ごとの活動にも他の宿場との連携・交流を交えた取り組みが行われるようになってきた。また、地域住民代表も組織に参加しているため、組織全体の活動に地域住民が参加してきていることから、引き続き活動を継続させることにより地域づくり実践者を増加させたい。

(地域活性化に繋げたい。)

・現在の組織では、市町村域を超えたメンバーが少ないが、街道を活用した連携事業、交流会等を実施する中で、広域観光を推進できる体制を整えていきたい。

・新たな地域資源の掘り起こしや磨き上げにより活用できる資源は、観光協会や観光施設に情報提供等(印刷物配布)することで情報発信の強化を図るとともに、資源を結びつけた周遊ルート等も観光協会、旅行代理店等に提案することで誘客促進に繋げたい。

(観光協会、旅行会社等と滞在・周遊観光の推進を図りたい。)

・今後も長期にわたり地域資源を活用できるよう、学校との連携により次世代の担い手を育てる取り組みを行いたい。

・「皇女和宮御下向行列」については、高い誘客効果及び観光客の消費を促すことが期待できるため、地域の特性(奈良井地区、木曾平沢地区は漆器産業が盛ん)を活かした産業の振興と商業の活性化に繋がる事業にしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある